



# 墨東の学び

都立墨東特別支援学校

校長 田村 康二郎

## 墨東書展の御案内 /

### 笑顔と学びの体験プロジェクトはファイナルステージへ！

都教育委員会の特別指定（都内公立校約2200校中の数校のみ）を受け、プロの芸術家を招聘し、1年間にわたり継続的に取り組んできた「書道とアートの体験活動」が、間もなくファイナルステージを迎えます。

12月の墨東祭では、全墨東生が参画して共同制作した「ウェルカム・フラッグ」をSB駐車場に掲げて御披露したところです。そして3学期は、墨東生が個々に取り組んだ創作書道の作品を校内に特設のアート・ギャラリーに展示します。

併せて展示作品の中から「きらりと光る個性豊かで心に響く書」をプロデュースしていただいた書道家の森大衛先生を含めた選考委員会で審査し、賞を贈ります。表彰をとおして本人の努力と感性を讃え、他の墨東生にも「私も触発されました！」「書きたいことが閉まりました！」「新たな書にチャレンジしたい！」などの創作意欲を喚起し、主体性を育てていく一助となるようにとの願いを込めています。

◆3学期のアート・ギャラリー展覧第1弾は「墨東書展」です。⇒別ページのイメージポスターを御参照ください。保護者・御家族の方は、2月3日～21日の間の授業日、9:00～15:00の時間帯ならいつでも鑑賞可能です。（来校日時等を連絡帳等で事前に担任にお知らせください。）

◆鑑賞された際には、以下の御協力をお願いします。

- ①特に心に響いた作品を一つ選んで、備付けのカードに御記入いただき、投票箱にお入れください。
- ②墨東生書家は、鑑賞者からフィードバックがあると大きな喜びを得ることができ、次の作品づくりへの励みとなります。ぜひ、墨東生書家へのメッセージカードもお寄せください。墨東生書家が鑑賞時に見ることができるよう、メッセージボード上で御紹介させていただきます。

### 北棟1階に笑顔と学びのプロジェクト紹介展示を設置

保健室隣の校長室前（経営企画室向い）に笑顔と学びのプロジェクトの活動紹介のコーナーを設けました。共同制作の「ウェルカム・フラッグ」とそれを構成する墨東生のデザイン画、総合プロデューサーのイラストレーター小池アミイゴ氏の紹介とともに、PTAから墨東祭で御紹介いただいた特別生「ベルかも」ちゃんの紹介パネルもあります。



### 進級認定・修了認定、そして卒業認定とは？

公教育全般については、全て法令等で定められています。学校教育法施行規則第57条には「**小学校において、各学年の課程の修了又は卒業を認めるに当たっては、児童の平素の成績を評価して、これを定めなければならない**」と示されています。（中学校も同様の規定）つまり、出席日数だけで決まる訳ではないのです。授業態度や学ぶ意欲等を含めた平日頃の学習の活動成果をもとに決めるという考え方です。また関連する通達により、（病気等も含めた）長期欠席の児童・生徒についても、適切な方法でその成績を評価することで、卒業認定できるとされています。更に特別な事情があれば、その事情を考慮してよいとされています。

こうした各学年の全課程修了＝進級認定、その集合体としての各学部の卒業認定は、全て校長が行うことも定められています。そして同規則第58条には「**全課程修了者と認められた者に校長は卒業証書を授与しなければならない**」と規定され、これが「卒業証書授与式」（略して卒業式と呼称）の根拠となっています。特別支援学校の小・中・高の各学部にも上記法令が適用されます。

### 卒業期を前に /

#### 肢・病両部門（小中高）の卒業認定会議を行います！

例年、本校では2月中旬に肢・病の両部門全学部の卒業認定会議を行います。各学部の最高学年に在籍する児童・生徒を対象に①現時点での出席・遅刻早退日数、②諸事情で出席できなかった日や休業期間中に行った家庭での補充学習の状況（遠隔学習を含む）、③今年度、授業を含む学校生活で身に付けた知識・技能、④今年度の授業を含む学校生活の中で、獲得した思考・判断・表現の力、⑤主体的に学習に取り組む態度。この5項目に対し慎重に個別判断し（卒業式当日

まで学び続けることを条件に付して、)卒業可能であるか否かの判断を行い、対象となる墨東生個々の「卒業認定」を行います。認定された該当の墨東生には、認定会議の翌朝、「卒業認定をしたので(あなたは卒業できます。)、卒業式に向けた学習に入ります！」と校長からお知らせします。

**卒業認定会議の実際** 3月末時点で当該学部での在籍月数が3年分の36ヶ月(中・高)、6年分の72ヶ月(小)に届く見込みの墨東生が対象としてリストアップされます。対象者名簿を作成の上、学級の主任任が該当する墨東生一人一人の出席・遅刻・早退・欠席(及びその理由)を一覧にし、これに日頃の学習状況の成果を合わせて、卒業の認定可否についての所見をまとめた上で、卒業認定会議の場で、校長・副校長等の会議出席者に報告し、構成員による質疑・協議を経て、校長が「卒業認定」の可否を決定します。認定可となると、「卒業証書」作成を開始します。

**進級認定会議の実際** 卒業学年を除く在学生に関しては、各学年の学習内容の履修(何を学んだか)と修得(何が身に付いたか)を確認し、次の学年への進級ができるか否かを判断する「進級認定会議」を3月上旬に開催します。学年別対象者名簿を作成の上、学級の主任任が一人一人の出席・遅刻・早退・欠席(及びその理由)を一覧にし、これと日頃の学習状況の成果(及びオンラインも含めた家庭学習等の成果)を合わせて、進級の認定可否についての所見をまとめて認定会議で報告し、構成員による質疑・協議を経て、校長が「進級認定」の可否を決定します。進級可となると、通知表に付した「学年修了証」の作成を開始します。

**特別支援学校における成績評価方法の特長** 特別支援学校の場合は、小・中学校や高等学校の教科書に沿った教育内容に基づく数値評価では、学習成果を的確に評価できない児童・生徒が少なくありません。そうした場合には、通知表や個別指導計画で家庭にお知らせするのと同様、学習状況や学習活動成果を文章による表記で評価した上で、公簿の指導要録等に記載します。

**<大会概要> 2/15(土) 都ハンドサッカー大会開催!**  
**※今回は、選手御家族と引率教員のみが参加できます!**

ウインターシーズン恒例の都内肢体不自由特別支援学校全校が参加する「ハンドサッカー都大会」が今年も開催されます。今回は、例年使用してきた駒沢オリンピック記念公園内の屋内競技場が利用できないため、府中けやきの森学園と花畑学園の2会場に分散しての開催となります。本校は花畑学園会場の対象校です。両会場とも観客席のない学校体育館会場ですので、いつものように多くの応援団を収容できないとのことで、今回は会場に入ることができる

のは、出場選手の家族と引率教員のみだそうです。応援席から声援を送ることは叶いませんが、出場チームと引率メンバーにその思いを託します。練習成果を發揮して、存分に輝いてください。吉報を確信しています!

## 令和6年度 東京都肢体不自由特別支援学校 ハンドサッカー大会

日程：令和7年2月15日(土)

時間：開会式 9時30分～閉会式 15時50分(予定)

会場：都立花畑学園 特設会場(体育館他)

駐車 各校選手チームは、各校に配車の送迎バス利用可

※ 選手保護者・家族と引率教員のみ入場可

★東京発祥のこのスポーツの歴史とルールのあらましを御紹介します。(ルールは改訂される場合があります。)

### ハンドサッカー大会の歴史～東京から各地域に～

平成の初期、ある養護学校(現在の肢体不自由特別支援学校)の先生が研究会で各学校の体育の授業で行っている球技を紹介し合ったことから始まりました。共通性のある内容であったため、交流試合をしようということになり、ルールを統一させて実施した試合がその発端です。第1回(1989年度)、第2回(1990年度)の交流試合は、府中養護学校(府中けやきの森学園の母体校)と江戸川養護学校(鹿本学園の母体校)の2校で行われました。この試合を参観した教員たちが自分の勤める学校も参加させたいと広げていき、年を追うごとに参加校が増えていきました。

現在では、東京都肢体不自由特別支援学校体育連盟主催の都大会へと発展し、都内にある国立・区立を含む肢体不自由特別支援学校全20校のほぼ全校が参加する大きな大会となっています。

また、過去には国体に相当する全国障害者スポーツ大会2013東京大会ではオープン競技として採用されるなど、徐々に関東、そして全国に広がっていきました。

その後、2020オリパラ東京大会に向けて公式競技であるボッチャも浸透していきました。

子供たちが自分の特性や志向に合わせて活躍できるスポーツ種目が増えたことは嬉しいことです。

### 解説「ハンドサッカー」ってどんなスポーツ?

【ハンドサッカーとは】既存の競技では十分に対応しきれない様々な実態の障害を有する子供たちに合わせ、活躍の場を広げ、個々の能力を引き出し、心身を健全に育成するために考え出された競技です。つまり、障害の比較的重い者と軽い者が協力しあって一緒に活躍できるよ

うに工夫したチームスポーツです。

【ハンドサッカーの成り立ち】肢体不自由特別支援学校には、様々な実態の児童・生徒が在籍しています。体育の授業では、車椅子バスケットなどのパラリンピックを始めとするポピュラーな障害者スポーツや電動車椅子サッカーなどの特定の障害種別による競技は、授業でみんなが一緒に行うのは困難でした。そうした理由で陸上競技などの個人種目が多かったのです。しかし生徒がやりたいのは野球やサッカーのように仲間とチームを組んでの球技でした。この願いを受け止めた教員が皆で一緒に参加できる競技として、試行錯誤しながら創り出したスポーツが「ハンドサッカー」の原型です。

## 「ハンドサッカーとは？」ルールと役割の早わかり

### ルールの工夫①「ポジションの設定」

☆フィールドプレイヤー（F）：4名

コート上を自由に動きまわることができ、比較的機能障害が少ない選手が対象となります。

☆スペシャルシューター（SS）：1名

コート上を自由に動きまわることができ、比較的機能障害が重度の選手が対象となり、ボールを保持しスペシャルシューターエリアに入ることによって1点が加算され、サブゴールへのシュートの権利が得られ、成功すると更に1点が加算されます。（大会レギュレーションにより異なります。）

☆ポイントゲッター（PG）：1名

ポイントゲッターエリアに位置し、他選手からパスを受けられると1点が加算され、さらに自らの能力に応じたシュート課題に挑戦する権利を得て、成功すると更に1点が加算されます。

\*SS・PGのシュート成功率は50%程度で考えられています。

☆ゴールキーパー（GK）：1名

ゴールエリアに入ることのできる唯一のプレイヤーとしてゴールを守ります。（コート上に出て行くことも可、その際は通常のフィールドプレイヤーと同じ扱いとなります。）

### ルールの工夫②「ボールの保持時間」

各選手には、障害の度合いにより3秒、5秒、10秒の持ち時間が決められ、その制限時間内しかボールを保持することはできません。どの時間を適用するかは、生徒と指導者が一緒に考えて決定し、あらかじめ体育連盟（主催者）に届け出ています。

### ルールの工夫③「ボールタッチ」

上肢等のまひなどにより、パスされたボールをキャッ

チすることが困難な選手は、ボールが身体や車いすなどに触れたことで、ボールを保持したと認めます。一方、ボールキャッチが可能な選手はボールに触れただけでは保持は認められません。どちらを適用するかは生徒と指導者が一緒に考えて決定します。

## ＜応援編＞ハンドサッカー観戦時の楽しみ方

＜注目①＞ フィールドプレイヤーは、練習で培った堅守や連携プレーを見せ、絶妙なパスを回します！

＜注目②＞ スペシャルシューターはボールを受けていかに巧みにスペシャルシューターエリアに持ち込むかで大量得点の糸口を作り出します！

＜注目③＞ ポイントゲッターは、日頃練習し積み重ねてきた一番得意なシュート方法で得点の上積みをしていきます。しかし、オリンピック然り、大舞台の大観衆の声援、何百人が祈るように見つめる中で、制限時間以内に（筋緊張のコントロールも含め）平常心でシュートできるか！

＜注目④＞ ゴールキーパーは、最後の砦であるとともに、フィールドプレイヤーと同様に攻撃に参加することもできますが、素早く戻らないと空いたゴールが狙われます。どれだけ、ボールの動きを先読みして守れるか！

＜注目⑤＞ 監督・コーチの動きにも注目です。タイムアウト時の作戦伝授で何を伝えたのか？

監督の唇の動きから推測するとともに、その後の選手の動きの変化を追ってみましょう。

＜注目⑥＞ 待機選手席にも注目です。どの時点で誰が投入されるかも得点の機会を作るポイントです。

## 北棟1階スクールバス昇降口内に大型モニター設置！

児童・生徒が出入りする北棟1階の昇降口内に、DXハイスクール指定に基づく特別予算を活用して、大型モニターを



設置しました。ベルカもちゃんによる案内イラストボードには「墨東生の皆さんへ、みんなへのお知らせを掲示するモニターです。確認してね！」と記されているように、準備が整い次第、生徒が「情報」等の学習で作ったデジタルデザイン、生徒会発ニュースなど、墨東TVとして多岐の情報発信していく大型モニターです。

校長 田村 康二朗